

彦名通信

No. 161
平成22年7月



入学式



新入生オリエンテーション



新入生オリエンテーション



前期中間試験 (1A)

CONTENTS

目次

新年度特集

校長より	2
入学式の様子	2
副校長、各主事より	3
新任教職員挨拶	4

クラス便り

1年機械工学科	5
1年電気情報工学科	6
1年電子制御工学科	7
1年物質工学科	8
1年建築学科	9

クラブ便り

クラブ紹介	10
活動報告	10
松江高专定期戦	11

学生会便り

学生会紹介	11
-------	----

地域交流

地域共同テクノセンターの紹介	12
----------------	----

研究活動

研究紹介	13
------	----

トピックス

平成22年度編入学生の紹介	14
ゆうぎり寮改修工事終了について	15
前期行事予定	15

専攻科便り

専攻科長より	16
専攻科交流会	16
編集後記	16

米子高専へ着任して

校長 齊藤 正美



4月1日に米子高専に着任して以来早や二ヶ月が過ぎました。それまで勤めていた鈴鹿高専（三重県北部）から遠く離れたこの地の第一印象はやはり大山の雄大さです。富士山のように裾野がゆったり

と四方に広がる様(さま)が私はとくに好きです。また、そこから眺める弓ヶ浜の曲線が美しく、古代の妻木晩田(むきばんだ)遺跡あたりに暮らしていた弥生人も同じような景色を眺めていたと思うと感動的ですからあります。学校から数キロ離れば中海もあり、また国道431号線に沿ったケヤキ並木も見事です。このような自然環境に恵まれた風光明媚な地で勉強や仕事ができることはたいへん幸せなことだと思っています。

さて、米子高専の第一印象は・・・多分、私のように他地域からきた人間の方がその特徴を良くとらえられるかも知れません。まず、校舎(建物)が他高専に比べて圧倒的に優れていると思います。学科ごとに色分けされた教室棟や研究棟、学生控え室やセミナー室の空間が多いこと、広々としたコラボレーションゾーン、近代的設備が備わった専攻科のオープンシアター、玄関前の華麗な「大屋根」、昨年度新装の女子寮、施設設備が充実した「ものづくりセンター」など、特色ある校舎・建物が印象的です。これについては、先日行

われた中国地区高等専門学校校長・事務部長会議に出席された高専機構の林理事長や校長・部長の皆さんも感心されていました。一方、学生や先生方の印象は・・・これはまだ日が浅いため本当に第一印象しかありません。デザコン、プロコンでの学生の活躍ぶりや建築学科学生の地域貢献活動、ヨット部等の課外活動などで元気な学生がたくさんいること、また先生方はとくに教育活動や地域貢献活動に熱心で地道に頑張っておられることなどをあげることができますが、今後はこれ以外のことについてももっと知るよう努めたいと思っています。

言うまでもなく、高専の使命は日本の工業界の基盤を支える「創造性に富んだ実践的なエンジニア」を育てることにあります。これまで高専は多くの優れた技術者や研究者を輩出してきましたが、今後とも科学技術立国をめざす我が国にとってその期待はますます高まっています。高等教育機関としての米子高専の存在感を一層高めるために引き続き魅力ある学校づくりを目指します。そのため、新たに「学生が生き生きとしている学校」「地域・社会に信頼される学校」「教職員が働きがいのある学校」を三つのキャッチフレーズとし、その実現に向けて学校運営を図っていきたいと考えています。学生、教職員、保護者、地域の方々のご理解とご協力をお願いいたします。

入学式の様子

4月6日（火）、本校第一体育館にて入学式が挙行されました。入学生数は、機械工学科42名、電気情報工学科42名、電子制御工学科41名、物質工学科41名、建築学科40名、編入学生5名、留学生3名、専攻科33名です。



副校長より

物質工学科 小田 耕平



JABEEとは、大学（高専では4、5年および専攻科）など高等教育機関で実施されている技術者教育プログラムが、社会の要求水準を満たしているかどうかを外部機関が評価し、要求を満たしている教育プログラムを認定する制度です。JABEEは、ワシントン・アコード（技術者教育水準に関する国際的な取り決め）に加盟していますので、認定を受ければ国際社会でも通用する資格となり、技術士の1次試験が免除されます。建築学科・建築学専攻は単独で建築学プログラム、その他の学科・専攻は合同で複合システムデザイン工学プログラム（融合・複合、新領域分野）で受審します。これらのプログラムにはエンジニアリング・デザイン教育の内容が含まれていることが重要で、本校では専攻科の創造実験や創造設計実習などを軸に実施しています。総務部は教務部および専攻科と協力し学校を上げて来年度予定のJABEE受審のための準備を本格的に行ってまいります。

■総務主事補：青木（C）、山本英（D）

寮務主事より

電子制御工学科 能登路 淳



今年度から新しく寮務主事を拝命いたしました電子制御工学科の能登路です。どうぞよろしくお願ひします。ご存知のように本校の学生寮は遠方からの通学困難な学生が生活するためのものですが、同時に教育の場としての寮でもあります。教育寮とは「集団生活を通じて、他の学生との人間関係を築き、自己の人間形成を目指す」ものです。その精神にのっとり今年度のスローガンを「“絆”を育む学生寮」としました。現在生活する在寮生や社会一般にもっと「寮」の良さを認識してもらい、そして寮で得られた絆を高専卒業後も大切にしたいという思いを込めています。平成22年5月現在の寮生数は、男子の新入寮生31名、女子16名、3年編入留学生3名（マレーシア2名、インドネシア1名）及び4年次の編入学生5名を加え、総勢234名となりました。この寮生たちを寮母を含めた15名の寮務教職員と高砂・白鳥寮長をはじめとする寮生会役員とで一体となってサポートしてまいります。

■寮務主事補：宮田（E）、中島（G）、谷藤（C）、権田岳（M）、田中博（E）、井上（D）、藤木（A）、松崎（G）

教務主事より

電子制御工学科 香川 律



大学・高専などの技術者教育プログラムが社会の要求水準を満たしているか審査・認定するJABEE（日本技術者教育認定機構）は、わが国技術者教育の質保証を加速するため“エンジニアリング・デザイン教育の更なる充実”を掲げ、2011年以降の重要方針の一つに、(1)解が一つでなく複数のアイデアを提示できる。(2)学校で学ぶ複数の知識を応用できる。(3)コミュニケーション力ならびにチーム・ワーク力を発揮できる。(4)創造性が発揮できる。(5)コスト等の制約条件について考察を行える。(6)自然や社会への影響（公衆の健康・安全、文化、経済、環境、倫理等）についての考察を行える。等の能力を育む複合的な課題を学生に提示しているかとの観点を盛り込んでいます。ロボコン、プロコン、デザコン等で実証された教育力を基盤に、JABEE認定・審査に向け、学生や保護者の皆様方に自信と誇りを持って頂ける学校づくりを目指し、引き続き、本校教育の質の向上に努めて参ります。

■教務主事補：山田（A）、田中晋（C）、権田英（E）、梶間（C）、大塚宏（M）

学生主事より

一般科目 森田 典幸



本年度学生主事の任にあたることになりました、一般科目の森田です。宜しくお願いします。始業式でもお話ししましたが、皆さん一人ひとり個人として、そして、家族・クラス・クラブ・地域社会などの集団を形成する一人として存在しています。その集団にはそれぞれ目標があり、それに向けて一人ひとりがすべき事があります。自分には何ができるか考えてみてください。何かあるはずですよ。個性豊かなみなさんが集団として機能した時、きっと個人としても進歩すると思います。もちろん個人としても、集団の一員としても、してはならない事もあります。わかっていますよね？子供じゃないんだから。

■学生主事補：蔵岡（G）、中山（D）、黒川（G）、白枝（A）、里村（C）、大野（G）

新任教職員挨拶

クラス便り

クラブ便り

学生会便り

地域交流

研究活動

トピックス

専攻科便り



事務部長
大山 正人

本年4月1日付け事務部長に就任しました。米子高専の学生の皆さんには楽しく有意義な学校生活が送れるよう願っています。また、快適で安全な学習環境が保てるよう事務的にサポートさせていただければと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。



総務課財務係長
福島 秀明

松江高専との人事交流を終え3年ぶりに復帰しました。安来からの通勤風景が大山を見ながらの毎日に変わり新鮮さを感じています。新たな気持ちで本校の発展に貢献したいと思っていますのでよろしくお願いいたします。



機械工学科
助教 **原 圭介**

機械工学科の原圭介です。月日ばかりが過ぎていくことに焦りを感じる毎日です。まだまだ教師として半人前ですが、より活気ある学校づくりに貢献できるよう頑張っていきたいと思っています。



建築学科
講師 **白枝 伸**

3年ぶりに再び1年の任期付きで着任いたしました。今回も短い期間ではありますが、建築設計の実務者として、また、本校のOBとしての経験を活かした活動をみなさんと共にしていけることを楽しみにしています。よろしくお願いいたします。



建築学科
助教 **北農 幸生**

境港市出身で本校のOBです。授業中での学生の教育はもちろん、部活動やデザコン等の課外活動の指導にも力を入れて取り組んでいきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。



建築学科
助教 **小椋 弘佳**

本校を5年前に卒業し、大学進学、設計事務所勤務を経て、この度建築学科の教員として戻って参りました。教育指導や研究に加え、地域活動にも関わっていきたく考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



一般科目
講師 **松崎 安子**

生まれ育った地を離れ、米子に参りました。意外にも米子が、私の故郷と似ていました。それが嬉しくて…。これから、学生の皆さんとともに「よき学び」をしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



総務課
吉岡 明宏

昨年10月から米子高専にお世話になることになりました総務課の吉岡です。米子の地も学校という職場も初めてで、毎日が勉強の日々を過ごしています。頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



総務課
佐伯 敬

施設係の佐伯です。以前は計量法に関する業務に携わっていました。これまでの経験を生かしながらも、初心を忘れず業務に励みます。そして高専の発展のために頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。



総務課
伊澤 萌

4月から総務係としてお世話になることになりました伊澤萌です。3月に大学を卒業し、米子に帰ってきました。音楽とお話しごはんが大好きです。まだまだ力不足ですが、笑顔を忘れず一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします。



総務課
横田 昇平

はじめまして。今年度より事務職員として勤務することになりました横田と申します。初めてのことがばかりで戸惑うことも多くあると思いますが早く一人前になるよう日々努力していきますのでよろしくお願いいたします。



学生課
堀之内 ゆり

4月に鳥取大学医学部から転任してまいりました。高専での勤務は初めてで、戸惑うこともありましたが、一生懸命がんばりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



学生課
吉野 遥

本年度から学生係の事務員としてお世話になることになりました。吉野と申します。つい先日まで大学生だった若輩者ですが、皆さんのお役に立てるよう精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。



学生課
和田 直己

平成21年10月1日に採用となりました寮務係の和田直己です。「利便性」と「ケジメ」のバランスが取れた寮運営を心掛け、寮生の成長をサポートして行きたいです。よろしくお願いいたします。



技術教育支援センター
森 智広

この度、技術職員としてものづくりセンターで勤務することになりました。本校卒業後、企業で培った技術経験を活かし「モノづくり」の喜びと重要性を学生に伝えていける様、努力していきますので宜しくお願い致します。



技術教育支援センター
日野 英彦

私は平成15年に本校物質工学科を卒業し、このたび技術教育支援センター技術職員として配属されました。主に物質工学科の専門科目実験実習および全学科の一般科目実験実習に立ち会います。よろしくお願いいたします。



寮母
足立 秋美

白鳥寮で寮母としてお世話になります足立です。みんなで生活をする日々の積み重ねが寮生一人一人の大きな力になればと思います。そしてその毎日を見守りたいと思います。よろしくお願いいたします。



1年機械工学科

クラスデータ

学生数 46名(男45 女1)
寮生数 11名

(鳥取西部1、鳥取中部6、兵庫県1、島根県1、広島県1、山口県1)



「高専に入学して早一ヶ月」

伊達 和晃

高専に入学して1ヶ月。ものすごい勢いで友達が増えて、クラスにまだしゃべったことの無い人がいないほどいっぱい人と話し、毎日とても楽しい日々をみんなと過ごしています。M科はとってもみんな仲が良く、どんな状況でも絶対楽しくできるすごいクラスだと思います。自分は学級委員として、日々のあいさつを中心に活動を行っていますが、みんなちゃんとあいさつをしてくれるので、自分はとてもうれしいです。

さて、最近思うことといえば、なんとなく暑くなってきた気がします。暑くなると、みんなの気もゆるんでしまうようで、先生の注意も多くなっている気がします。だから、自分たちはもう少し気を引き締めていけばいいのではないかと思います。少し説教のようになりましたが、自分にもこのことが言えると思うので、自分でも気をつけて、高専での生活を送っていけば、今よりもっと楽しく、M科でやっていけるのではないかと考えています。

「高専に入学して一ヶ月たって」

川本 裕太

高専に入学して1ヶ月たちましたが、高専に少し慣れてきたところです。まだ校舎内で迷うこともしばしばあります。高専の授業は難しいですが、友達が教えてくれるのでなんとか大丈夫です。

今、僕はバレー部に入学しています。バレーは楽しいです。僕はバレー経験は小学生のときの1年間しかやったことがないのですが、先輩方からいろいろとアドバイスをしてもらっているので、少しずつだけ上達していていると思います。バレーは楽しいです。

高専の寮はとにかく厳しいです。あいさつなどをしたりするのも大変です。くつろげる場所は自分の部屋だと思います。でも、寮は規則正しい生活なので、リズムが整っています。それに、寮食はとてもおいしいです。

勉強や寮など大変ですが、この一年間頑張っていると思います。

担任インタビュー



一般科目
酒井 康宏

このクラスの特徴を教えてください。

とても元気の良いクラスです。最近学校に慣れてきたせいか、ややハメをはずす時もあります。集中するときは集中し、はじめをつけて学校生活を送ることが出来ると思います。最近、だいぶクラス全体がまとまってきました。

どんなクラスになってもらいたいですか？

機械は工学分野の基本です。人としても基本が大切です。他人を思いやる気持ちを大切に、誠実な人間に育って欲しいと思います。そうすれば、誠実味あふれるクラスになると思います。

最後にクラスの学生にメッセージを。

一人一人が相手を思いやる気持ちを持ってください。特にクラスに一人しかいない女子学生を大切に思いやってください。



1年電気情報工学科

クラスデータ

学生数 44名(男40、女4)
 寮生数 7名
 (鳥取中部2名、鳥取東部4名、島根県1名)



オリエンテーションで感じたこと 倉田 太浩

入学式翌日の校内オリエンテーションでのクラスの雰囲気は、みんな緊張していたせいか全く会話がなくて、「こんな雰囲気のクラスで5年間楽しくやっていけるかなあ」と少し不安に思いました。しかし、大山オリエンテーションで出身中学校が違うみんなが積極的に話しかけ合い盛り上がっている様子をいろいろな場所で見ると、実は本当は賑やかなクラスなんだなと感じました。夕食後、僕自身も自分の部屋や他の部屋でたくさんの人と友達になることができました。とてもいい雰囲気の大山オリエンテーションでした。これからの学校生活がとても楽しみになりました。

今ではとても明るくてまとまりのあるクラスになりました。このメンバーで5年間過ごしていくのが楽しみです。

けんかのないクラス☆ 岡本 美紀 ちょっと変なニオイするけど 山元 史奈

入学式当日、このクラスは女子4人だと知って愕然としました。四方八方どこ見ても男子ばかりで女子には居場所がないなあと感じていました。でも大山オリエンテーションで少しずつ男子と女子のコミュニケーションが増え、今ではちょっとしか男女間の確執がないです。とてもわきあいあいとしたいいクラスです。朝教室のドアを開けると漂うラーメンの香り。ふと後ろを見ると、まだツユの残っている昨日の昼食、“カップラーメン！！” 入学当初はこんな状況でしたが、今ではみんなが日々掃除にいそしんで教室の清潔さが保たれつつあります。清潔な教室で勉強もはかどっています。

1EはEクラスです。ちょっと変なニオイするけど。

担任インタビュー



電気情報工学科
 浅倉 邦彦

このクラスの特徴を教えてください。

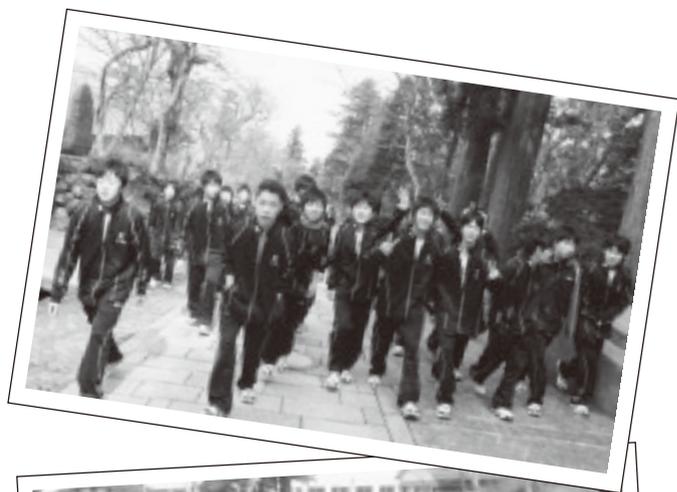
個性派ぞろいでありながらも団結力があって元気なクラスです。

どんなクラスになってもらいたいですか？

それぞれが自分の個性を活かすと同時に周りの個性を尊重する、自然とそんな雰囲気に包まれたクラスになってほしいです。

最後にクラスの学生にメッセージを。

人生は楽しみましょう。楽しむために考えましょう。楽しむために努力しましょう。ラクをしても楽しめません。学校での経験の全てがきっと楽しい未来へと導いてくれるでしょう。5年後の姿を楽しみにしています。



1年電子制御工学科

クラスデータ

学生数 44名(男36名、女8名)
 寮生数 10名
 (鳥取中部6、鳥取東部1、島根県1、兵庫県2)



高専に入学して

竺原 慎

僕は中部の中学校から米子高専に入学しました。高専の第一印象は自然に恵まれ、良い環境で授業に取り組めることです。入学してから寮で生活しています。寮での生活は厳しく、時には指導もあります。ですが、その厳しさは僕たちが社会に出たときに困らないためにあるものなので、頑張っていくと思っています。

学校生活では、良い友達がいっぱい出来、とても楽しい毎日を送っています。授業では、新しく習う電子専門教科「電子製図」や「物理」に力を入れて頑張っています。部活動は硬式テニス部に入部しました。今はまだ新米なので、試合に出られるように頑張っています。

これからも自分に出来る事を精一杯努力して楽しい高専生活を送っていきたいです。

オリエンテーションの感想

佐々木 泉

オリエンテーションでは、部屋での自由時間が一番楽しかったです。始めは、仲の良い人が同じ部屋にいなかったのが不安でしたが、部屋においてあったパズルをみんなでやっているうちに、同じ部屋の人たちと話していけるようになり、仲良くなることができました。

お風呂から上がったからは、仲良くなった同じ部屋の人と2人でトランプをしていましたが、別の部屋に行っていた人がみんなを連れて帰り、最終的には8人でトランプを楽しみました。

大山に行く前は、説明を聞くだけなのに、なぜ大山まで行くのかよく分かりませんでした。でも今はそのおかげで仲良くなることが出来た人がいるので、とても良かったと思っています。

担任インタビュー



電子制御工学科
 村側 博康

このクラスの特徴を教えてください。

まだ不安や戸惑いを感じている学生、個性豊かな学生等さまざまですが、明るいクラスだと思います。

どんなクラスになってもらいたいですか？

皆が助け合い、互いに信頼できる雰囲気を持った、まとまりあるクラスになってもらいたい。

最後にクラスの学生にメッセージを。

入学おめでとうございます。いよいよ高専生活の始まりです。自分にあった目標を定め、将来の夢に向かって一歩一歩努力し、充実した1年間・5年間を送ってくれることを願っています。



1年物質工学科

クラスデータ

学生数 42名(男18、女24)
 寮生数 8名
 (鳥取中部3、鳥取東部2、島根県2、兵庫県1)



クラス内の雰囲気

大江ひかる

私は、大山オリエンテーションで、クラス全体が良い雰囲気になってきたと思います。オリエンテーションの前までは、名前も知らない他人のような存在でしたが、オリエンテーションでクラスの人と沢山の関わりが持てて、今ではみんなとても仲良くなってきています。

このクラスは半分以上が女子なので、他のクラスとは少し雰囲気が違うと思いますが、男女ともとても話しやすく、休憩時間はいつもワイワイしていて、とても楽しいです。それに、授業中はみんな静かに集中して取り組んでいるので、雰囲気はとても良いのではないかと私は思います。

これから5年間はとても長い期間になると思いますが、クラスで協力し合って、この良い雰囲気のまま過ごせたら良いと思います。

高専生活のはじまり

吉田 友輝

入学式が終わり、僕たちは高専生活のスタートを切りました。

入学式後には、早速、新入生オリエンテーションが一泊二日にわたって行われました。僕は「みんなと仲良くやっていけるかな」という不安もなく、すごく楽しくみんなとしゃべったりすることができたので、振り返ってみれば充実した二日間だったなと思っています。

僕は、女子の割合が半数以上を占める(異例らしいですが…)物質工学科に所属しています。僕たちのクラスはすごく楽しく、活気のあるクラスです。

高専生活は5年間と長そうに思えますが、僕は本当に短いなと思っています。限りある時の中で、自分の進路のことも考えながら、勉強・部活を両立させ、最高のスクールライフを送りたいなと思っています。

担任インタビュー



物質工学科
 小川 和郎

このクラスの特徴を教えてください。

とても仲の良いクラスです。また、積極性や行動力もあり、休み時間は常に大騒ぎです。ただ、男女間にはまだ少し距離があるように思います。

どんなクラスになってもらいたいですか？

このまま5年間、ずっと笑顔の絶えないクラスであって欲しいと願います。また、卒業後も連絡を取り合うような関係を築いて欲しいと思います。

最後にクラスの学生にメッセージを。

5年間、ほぼ同じ顔ぶれで学校生活を送ります。すると、良いことばかりでなく、嫌なことや辛いことも起こると思います。身の回りでSOSを感じたら、まず声を掛けてあげましょう。協力し、支え合うことで強い信頼関係が生まれると思います。学生時代にしか得られないものは他にもたくさんあります。まずは第一歩を踏み出すところから始めましょう。



1 年 建築学科

クラスデータ

学生数 42名(男22、女20)
寮生数 13名

(鳥取中部2、鳥取東部2、島根県4、岡山県2、広島県1、兵庫県1、大阪府1)



オリエンテーションに参加して 藤原 圭康

今回の大山オリエンテーションにおいて、高専生として5年間生活していく上で、大切な物をたくさん得ることができたと思います。

まず、建築科の中で、楽しい会話を一緒にできる友達や、頼りになる友達を作ることができました。一人で米子高専に入学してきたので不安でしたが、すぐに友達がたくさんできたことがとても嬉しかったです。

高専生としての心構えも教えてもらいました。校長先生のお話や、建築学科OBの方のお話を通じて、建築家としてどう生きていくかの見通しを立てることや、高専の良い所を生かして、自分を伸ばすことの重要性も学ぶことができました。この研修で学んだことを忘れずに、高専生活を充実したものにしていきたいです。

高専に入学して 小泉 友希

私から見たクラスの様子は、とても良いと思います。なぜなら、雰囲気がとても和やかだからです。女子・男子ともにグループがあることはあるのですが、別に対立するわけでもなく、あいさつを交わし合い、楽しく過ごしています。授業と休憩時間のけじめはついて…いないこともあります。一人ひとりが自分なりに高専生活を送っていると思います。

私が一番苦労していることは、勉強です。中学校とのスピードの違いが気持ちをどんどん暗くしていきます。しかし、1Aには頼れる仲間と先生がいます。これから5年間、想像も出来ないようないろんなことが私達を待っていると思いますが、この米子高専建築学科で出会った仲間と共に、充実した学生生活を過ごしていきたいです。

担任インタビュー



一般科目
越智 信彰

このクラスの特徴を教えてください。

県外出身者も多く、いろいろな個性が集まって、常ににぎやかで元気なクラスです。一方で授業中は真面目に勉強に取り組んでおり、良い雰囲気だと思います。

どんなクラスになってもらいたいですか？

学ぶときは一生懸命に学び、遊ぶときは思いっきり遊ぶ。将来をしっかりと見据えて、今やるべきことを自ら正しく判断し行動してもらいたいです。自分勝手な行動や、与えられた役割をしないなど、周りに迷惑をかけてはいけません。

最後にクラスの学生にメッセージを。

これから1年間、楽しいこと、大変なこと、いろいろあると思いますが、みんなで一丸となって頑張っていきましょう！



卓球部

クラブ紹介

顧問 電子制御工学科 河野 清尊

この春(平成22年3月~5月)の主な大会結果を報告します。

■平成21年度中国・四国高専卓球新人大会

3月23日(火)・24日(水)新居浜市民体育館

<男子団体戦> 3位

準々決勝 米子高専A○ 3 - 2 ×高松高専A

準決勝 米子高専A× 1 - 3 ○徳山高専A

3位決定戦 米子高専A○ 3 - 0 ×高知高専A

<男子シングルス>

2位 2E河本、5位 5E黒見、8位 5C瀧

前年度と同様、団体戦は3位という結果でした。全国高専大会2連覇に向けてのスタートの大会となりました。

■平成22年度県春季高校卓球選手権大会

(第57回中国高校卓球選手権大会県予選会)

5月8日(土)・9日(日)倉吉体育文化会館

<男子学校対抗> 3位

2回戦 米子高専○ 3 - 0 ×倉吉西高校

準々決勝 米子高専○ 3 - 0 ×米子工業高校

準決勝 米子高専× 1 - 3 ○倉吉東高校

<男子ダブルス> ベスト8 3E宇山・2E河本組

<男子シングルス> 3位 2E河本

今年は、男子学校対抗だけでなく男子ダブルスとシングルスで中国高校卓球選手権大会への出場権を獲得することができました。

今年度は9名(男子6名、女子3名)の新人部員を迎え、部員30名と顧問4名で部運営を行っています。7月2日~4日の中国地区高専大会は米子産業体育館で行われます。大会を成功させるとともに、団体戦で優勝して全国2連覇を目指したいと思えます。みなさんの応援をよろしくお願いいたします。



科学部、天体観望会を彦名小学校にて開催!!

1C 川上 優太

我々科学部は5月21日(金)に彦名小学校で天体観望会を開催しました。今回の観望会は、既存の部員に加え、新入部員6名がアシスタントを行いました。幸い天候に恵まれ、予定どおり彦名小学校の天体望遠鏡を用いた月、土星、金星の三つの天体についての観望を行うことができました。

会の終了後、参加者にアンケートを行ったところ、満足度は100%でした。今後とも、満足度100%を維持できるように頑張ります。また、次回も今回のように天候に恵まれ、予定通り天体の観望が行えるとは限らないので、雨天・曇天時の予定である天体シュミレーションソフト「ミタカ」を使ったプレゼンテーションが満足のいくものになるように努力していきたいと思えます。



放送部が中海TVで優秀賞受賞!

クラブ紹介

顧問 物質工学科 田中 晋

放送部が制作し、中海テレビで放映した番組「米子高専Cross Over A」が、3月27日に開催された第14回パブリックアクセスチャンネル大賞にて、第2位にあたる優秀賞を受賞しました。この賞は、中海テレビ14chで2009年に放送された159作品を対象としたものです。今回、特に評価されたのは、米子高専の最寄り駅である弓ヶ浜駅において、ボランティアで自転車を整理整頓してくださっているおじさんを追ったドキュメント作品「自転車おじさんあしたを守る」です。数多くの米子高専生が毎朝、お世話になっているにも拘わらず、知り得ない自転車おじさんの活動へ対する気持ちを記録しています。弓ヶ浜駅を利用している学生必見の作品です。学園祭など機会ある毎に上映しますのでご覧いただければと思います。

また、放送部では、9月頃からコミュニティFM「DARAZ FM」にて番組「Teen's Radio(仮)」を制作・放送します。放送時間は毎週日曜日23:00~23:30(予定)。他の時間にも再放送を予定しています。鳥取県西部地区の高校放送部と持ち回りでの制作となり、米子高専放送部の登場は月1回程度となります。米子高専内のニュースや活躍している人たちを紹介していきますので、取材への協力をよろしくお願いいたします。



中国・四国地区高専バドミントン大会

5C 清水 章皓

3月24日から3月26日までの3日間、第36回中国・四国地区高等専門学校バドミントン大会が香川県丸亀市の市民体育館で行われました。主力の大半は昨年度で卒業したため、2~3年生にとっては初めての高専大会でした。遠征の経験が少ないことからコンディション調整等には苦勞していましたが、自分の試合だけでなく同年代の強い選手のプレーを目の当たりにすることで、良い刺激を受けていたようです。一方で4~5年生は、自分たちが主力という自覚がありました。勝たなければならない責任を持ちながら試合に向かいました。結果は男子団体3位、男子ダブルスでは4E椿彰人・4D宮原亮太ペアが準優勝、男子シングルス2部では5C清水章皓が優勝となりました。しかしながら、これらは昨年を下回る結果です。中四国大会に向けての練習計画作りが不十分だった点が原因の1つであると分析しています。今後はこの中四国大会の結果を踏まえ、中国大会での巻き返しができるように部員一同さらなる努力をしていくつもりです。



対松江高専定期戦

5月15日(土)、松江高専との第45回定期戦が米子・松江の両会場にて行われました。同日、文科系クラブ等の交流会も行われました。

総合成績
米子高専
5勝8敗1分

	米子高専		松江高専
バレーボール男子	0	－	2
バレーボール女子	0	－	2
柔道	1	－	4
剣道	0	－	4
		1引分	
野球	10	－	6
テニス	3	－	0
バドミントン	3	－	0
バスケットボール男子	47	－	102
バスケットボール女子	61	－	69
ソフトテニス男子	0	－	3
サッカー	1	－	2
卓球	5	－	0
水泳	88	－	39
ハンドボール	29	－	29

(引分け)



サッカー部



剣道部



ソフトテニス部



ハンドボール部



卓球部



バスケットボール部

学生会便り

今年度の学生会の紹介

学生会長 5E 谷本 大和

こんにちは！今年度、学生会長になりました5E谷本です。

今年度の学生会役員は約50人集まりました。みんながしっかりと意見を出しあうことができるので、新しいアイデアも沢山あり学校行事も一層皆さんに楽しんで頂けると思います。

現在、学生会では例年前期に実施していた球技大会に代わる企画を検討しています。今後、皆さんにご意見をお伺いすることがあると思いますが御協力をお願いします。

また、6月中旬には呉高専にて中国地方の各高専生で行う学生会の会議があります。米子高専の良さをアピールすると同時に、学生生活に役立つ情報を沢山得てきたいと思います。

今年度の高専生活が楽しかったと言ってもらえることを目標に様々な努力をしますので、応援・ご協力をお願いします！！



地域共同テクノセンターの紹介

地域共同テクノセンター長 機械工学科 大塚 茂

地域共同テクノセンターは、本校の地域・社会連携の窓口として、民間企業等との研究協力（共同研究、受託研究、技術交流等）、技術相談、人材育成事業等により地域産業の技術開発、及び技術力向上に貢献すべく活動を行っております。また、“地域と共に歩む高専”として米子市や鳥取県との地域連携を推進し、まちづくりや地域社会の発展に寄与することを目的とした地域貢献活動も展開しています。これら活動の充実・発展を図るため、米子高専振興協力会による協力・助成や行政機関、産業支援機関等との包括連携協定締結などを実施する中で、今年度は下記の活動に重点を置いて推進していきます。



主な業務

- ① 共同研究及び受託研究、技術相談等の産官学連携活動の推進
- ② 研究シーズ、研究成果、連携活動報告など情報発信の推進
- ③ 人材育成事業、連携講座、企業人材活用など地域共同教育の推進
- ④ 公開講座、出前講座、ジョイント講座などによる地域連携及び地域貢献活動の推進

■スタッフ：副センター長 森田 (M)、センター長補 加藤 (G)、松岡 (E)

平成22年度の地域貢献活動予定

月	日	イ ベ ン ト	対 象	場 所
5	22(土)	【文化セミナー】「和算そのすばらしき世界」 -鶴亀算などをめぐる-	一般	米子市公会堂
6	26(土)	【文化セミナー】「アメリカと日本の学校・まちの作り方」 -活気のある人にやさしい空間づくりを目指して-	一般	米子市公会堂
7	24(土)	【公開講座】親子で楽しむロボットづくり教室	小学4～6年生と保護者	米子高専
7	24(土)	【公開講座】親子ふれあい科学教室	小学5～6年生と保護者	米子高専
7	31(土)	【公開講座】リサイクル工作でインテリア雑貨を作ろう	小学3・4年生 (保護者同伴歓迎)	米子高専
8	12(木)	スーパーエンジョイ科学館(中・高校生科学ゼミナール)	中学・高校生	米子高専
8	21(土)	【公開講座】家庭発!親から子へつなぐ、リサイクル工作教室	小・中学生と保護者	米子高専
8	23(月) 24(火)	【公開講座】中学生のためのプログラミング入門 「米子高専Robocode Cup」	中学生	米子高専
8	28(土)	【公開講座】磁石でつくろう!魚ロボット工作教室	小学5・6年生と保護者	米子高専
9	1(水)～8(水)	【公開講座】初心者のためのパソコン教室	一般・社会人	米子高専
9	5(日)	【公開講座】楽しいマイホームづくり	中学生と保護者	米子高専
9	11(土)	【公開講座】レゴ・マインドストームでボールシューターを作ろう!	中学生	米子高専
9	18(土)	【公開講座】コンピューター・ロボット入門	小学5～6年生と中学生	イオン日吉津
10	23(土)	【文化セミナー】「不思議な現象、カオスって何?」	一般	米子市公会堂
11	21(日)	【公開講座】楽しいマイホームづくり	中学生と保護者	米子高専
11	27(土)	【文化セミナー】「中山間地域(過疎地域)の交通を考える」	一般	米子市公会堂



平成21年度公開講座の様子

研究紹介

機械工学科 矢壁正樹研究室

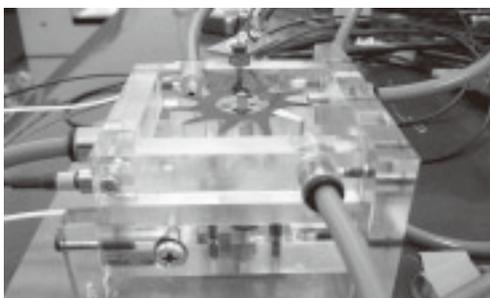
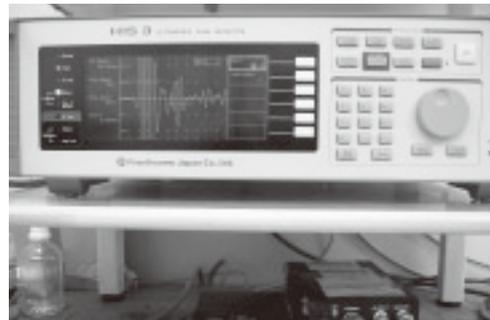
矢壁研究室では「超音波による多孔質焼結すべり軸受の油膜厚さ測定」を研究のメインテーマとしております。パソコンに用いられるハードディスクやDVDドライブに使われている小型DCモータには長寿命・高品質・低価格であることが求められ、このため従来から用いられているボールベアリングに取って代わり、多孔質焼結すべり軸受が用いられるようになってきました。このすべり軸受の油膜厚さ（軸受と軸の間に介在する潤滑油膜の厚さ）は数 μm と非常に薄く、また内径3mmと小径であること、不透明な材料であることから、油膜厚さの測定はととても困難でした。本研究室では超音波を用いることによりこれを可能とし、実用化に向けた実験装置の開発・研究を行っています。

また、本研究室では超音波探傷の研究も行っています。超音波探傷とは超音波を材料中に入射し、その超音波の反射波や透過波を観測することによって、材料中の欠陥・不良を見つけ出す技術です。非破壊検査法の一つの方法として広く用いられ、無くてはならない技術の一つです。車のようにタイヤと車軸が回転して人やものを移動させる乗り物とか機械・装置はたくさんあります。これらの金属部品は頑丈そうに見えても、金属疲労という現象により何年もつかえれば、壊れてしまいます。部品の破損による事故を未然に防ぎ、不幸な事故を無くするのが非破壊検査の目的です。今までに卒業研究テーマとして「鍛造ハンマーピストンロッドの折損予知」、「超音波探傷映像化装置の設計・製作」などをテーマとして取り組んできました。

またさらに学術研究とは趣が異なりますが、私は全国高専ロボコンの指導を毎年行っています。今年は機械工学科権田岳研究室とのコラボ卒業研究のテーマとしても取り組んでおり、ロボコン全国大会出場に向けて少しでも良いロボットができるよう指導しています。特に今年は松江で中国大会が開催されることもあり、学生達は一生懸命がんばっていますので、何かの機会に応援いただければ幸いです。

写真右上はフルデジタル超音波探傷器で大学でも持っているところが少ない高性能な超音波探傷器です。

写真右下は超音波法油膜厚さ測定実験装置です。



研究紹介

電気情報工学科 松岡祐介研究室

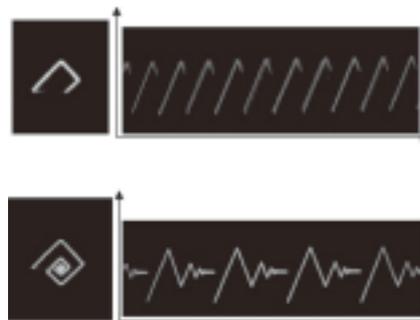
松岡研究室ではスイッチトダイナミカルシステム (SDS) に関する研究を行っています。ダイナミカルシステムとは状態が時間とともに発展するシステムで、微分方程式や差分方程式で記述できます。SDSはスイッチング動作を繰り返すことで、多彩な周期軌道やカオスのような複雑な現象を呈します。実際の物理現象のモデル化をSDSで表現することができ、さまざまな研究が行われています。

当研究室でもさまざまなSDSについて研究を行っていますが、その一つにカオススパイクング発振器 (CSO) があります。このCSOは、状態が振動的に発振しながらスイッチングによりベースレベルにリセットする、という「振動-発火」動作を繰り返します。

この発振器に外部入力として周期的なパルス信号を加えると、システムはカオスや超安定周期軌道といった興味深い現象を呈します。図の上図がカオスを発生しているときのアトラクタと状態の時間波形です。パラメータの入力の周期を変化させると、カオス的な振る舞いが図の下図のような超安定な現象に移り変わると言う現象を引き起こします。超安定な現象は、初期値に対して超安定で、定常状態に到達することができます。その一方で微小なパラメータ変化に敏感である、という興味深い特徴を持っています。主にこれらの現象解析（超安定な現象が起こるメカニズムの解明、カオスから超安定な現象へ移り変わる分岐現象の解析）を行っています。また上記のような特徴を生かした工学的な応用も研究を行っていきたくと考えています。

そのほか、人間の脳にある神経細胞であるニューロンの動作に基づくモデルのSDS、「スパイクングニューロン」も対象に研究も行っています。

スパイクングニューロンは「積分-発火」と呼ばれる動作を繰り返し、パルス（スパイク）列を出力します。この周期・カオス的なスパイク列の分布や特性の解析を行っています。元々のニューロンもスパイク列で情報処理を行っており、神経細胞学の見地からもスパイク列の解析は意義のあることと考えています。研究ではスパイク列の分布に基づくA/Dコンバータへの応用の提案を行っており、このような研究はSDS、ニューラルシステム、信号処理システムなどをつなぐ架け橋の礎となると考えています。実際の研究も、理論に基づく解析、PC（ソフトウェア）を使用した数値実験、図のような測定器具を用いたハード実験などさまざまな観点から取り組んでいます。



平成22年度 編入学生の紹介

3M モハメド カハイル アメル ビン モハマド カリ
(呼称：アメル) (マレーシア)

私の名前はモハメド カハイル アメル ビン モハマド カリです。マレーシアから来ました。私は長男で3人の弟と1人の妹がいます。父はメカニックで、母は教員をしています。私の趣味はサッカーをすることです。マレーシアでは友達と毎日サッカーをしていました。今、ここではなかなかサッカーをすることができません。なぜなら、毎日忙しくて、いろいろなことを勉強しなければならないからです。休みの時に先輩とサッカーをすることが楽しみです。

私の将来の夢はエンジニアになることです。そのため今は一生懸命高専で勉強しています。小さいときから車が好きで、特にエンジンに興味があります。いつか自分でF1の車のエンジンを設計することが夢です。というのはマレーシアには、まだF1の車のエンジンが無いからです。また、将来は日本の企業に勤めたいと考えています。私の夢を叶えるため、米子高専で一生懸命に勉強します。よろしくお願ひします。

3C ヨハネス クリスティ
(呼称：クリス) (インドネシア)

はじめまして。私はクリスと言います。インドネシアから来ました。私は一年間東京の日本語学校で日本語を勉強しましたが、まだまだ日本語能力が足りないと思います。

米子に来てから、もう2ヶ月が経ちました。最初に米子に来たとき、正直少しショックでした。米子は東京と全く違って、交通は少し不便で、遊び場も東京に比べてあまりなくて、最初はとても嫌でしたが、時間が経つとともに、少しずつ米子に慣れてきました。毎日3Cの皆さんと一緒に勉強するのがとても楽しいです。授業中、私がかんが分からない事がある時、いつも優しく教えてくれます。先生方も毎日分かりやすい授業をしてくれて、本当に助かります。寮の人も学生課の人もとても優しいです。

私の趣味はアニメを見ることと写真を撮ることです。週末にはいつもアニメを見ている。アニメは日本語の勉強に大変役に立ちました。アニメで楽しく、たくさんの新しい言葉や文法を勉強することができます。

今でも米子高専についてや勉強について分からない事がまだまだたくさんありますが、精一杯頑張りたいと思います。皆さん、改めて宜しくお願いします。

3C ヤジドゥルハフィズ ビン アハマド ヤジッド
(呼称：ヤジドゥル) (マレーシア)

はじめまして、私はヤジドゥルです。マレーシアから来ました。初めて日本に着いて、温度は約1℃ぐらいだったので、非常に寒かった。その時、風邪をひいて、病気になった。日本での生活は厳しいが、楽しいです。様々な新しい習慣とか、食べ物とか経験して、忘れないだろう。

学校では、たくさんの人と友達になった。みんなはすごく優しく、いつも私と冗談を言ったり、日本語を教えてくれる。実は私は今でも日本語があまりできないが、毎日がんばって、日本語の能力を完全にするつもりです。先生とチューターの助けで、だんだんよくなっています。

授業の時が一番大変です。宿題があまりなくても、勉強の制度がマレーシアと違うので大変です。例えば、前はレポートを書くことはなかった。高専に入って、レポートを書かなければならないので、とても大変です。しかし、チューターがいて、いつも教えてくれる。また、寮に帰って、もう一回習った授業を復習している。

私の希望はもちろんエンジニアだ。高専卒業後、大学で学びたいと思う。しかし、一番大切なことは、今がんばることです。勉強に成功するために、みんな、一緒にトップをとろう。

■4年次編入学生

クラス	氏名	出身高校
4D	堀 優人	岡山県立岡山工業高校
4D	河田 浩明	岡山県立岡山工業高校
4D	田保橋光樹	京都府立城南菱創高校
4A	行成 勝哉	大阪市立都島工業高校
4A	飯塚 大地	島根県立出雲工業高校



ゆうぎり寮改修工事終了について

寮務主事補 中島 美智子

米子高専の女子寮は、主として高学年の学寮生が生活する「あさぎり寮」と低学年の学寮生が生活する「ゆうぎり寮」から成っています。昨年度は、寮生活改善に繋がる多くの工事が実施された一年でした。まず、ゆうぎり寮と男子留学生及び専攻科生が暮らす東寮の耐震補強工事が終了したことにより、本校学生寮の全棟で耐震補強が成されたこととなります。また、衛生面の充実を目指した寮食堂厨房改修工事(オールドライシステム化)、寮食堂のテーブル・椅子の更新、自動ドアの導入、大型液晶テレビの増設も行われました。その上、磁気カードリーダー方式導入により、寮食堂における喫食状況管理を行うことで、寮生それぞれの生活状況や体調を把握し、寮生活でのケアや指導に役立てる試みも昨年度より実施されています。

さらに、夏季における学習環境改善のため、各棟共用場所へのエアコン設置等、寮施設の随所に生活環境の整備が成されてきました。なかでも特に大がかりな事業となったのは、ゆうぎり寮の全面改修工事でした。これは「留学生受け入れ増大のための寄宿舎改修事業」の募集に応募し、採択された結果可能となったものです。

これまで、基本的に男子寮である東寮に女子留学生を受け入れることは、防犯対策、プライバシー保護、入浴設備等にかかる管理運営上の問題があり、はなはだ困難な状況でした。この度のゆうぎり寮の改修では、春休み休業期間中を利用して施行され、以下のようなリニューアルが行われました。

<1階フロア>

防犯上の理由から、居室を設けず共有スペースとした。

- 療養室の新規設置(ユニットバス、トイレ、簡易キッチン完備)
新型インフルエンザなどの感染症発症時に、国内の学生なら自宅療養により隔離が可能となるが、外国人留学生は母国へ帰国させることができない。そのため、居室内で外出せずに1週間程度生活できる療養室を2部屋設置。1階外部より入退出可能なため、男子留学生が発症した場合も利用可能となっている。
- アメニティの充実及び省エネへの配慮(給湯設備の更新、二重サッシ化)
老朽化が著しかった重油ボイラ式給湯設備を更新し、CO₂排出量削減に配慮したガスボイラ式給湯設備へと変更。並びに冷暖房効率アップに有効な二重サッシ化。
- 補食室の拡充・充実(IH調理器、空調機等の完備)
留学生の国柄や宗教上の理由による食生活の違いを配慮した補食室を設けて、狭隘を解消し、複数名が同時に調理可能なスペースとなっている。また母国料理を振る舞う等による料理や食事を通した国際交流を育む空間として機能させる。

- 4) 共同学習室の確保
留学生と日本人学生との交流や相互学習も可能な空調機完備の学習室を確保。

<2階フロア>

女子留学生向けの個室として専有面積を広く確保し、アメニティの向上を図った。

- 1) 宗教や生活習慣の違いに配慮した個室化
- 2) 補食室の充実
- 3) シャワールームの新設
- 4) 省エネに配慮した二重サッシ化
- 5) トイレの洋式化(洗浄機能付き)、シャンプー可能なドレッサーの設置

<3階フロア>

男子留学生も使用可能なフレキシブル空間とした。

- 1)~5)の項目については、2階フロアと同じ
- 6) 3階を男子留学生の使用も可能な構造となっている。外階段からフロアへの出入りを可能とし、2階までの女子エリアと区切ることが可能となっている。将来、男子留学生の受け入れ増大へ対応可能である。防犯カメラを設置する等の防犯面も完備している。

- 7) 空調機完備の共同学習室の確保
このように、ゆうぎり寮は今や女子留学生の受け入れも可能となり、国際色豊かな学生寮として生まれ変わりつつあります。現在、ゆうぎり寮には1年生16名と低学年の寮生役員6名が暮らしています。生活環境や施設・設備が整ったとはいえ、環境問題に関心が深まる昨今、日頃から寮生活におけるゴミの分別、電気・水道を中心とする省エネを常に心がけ、環境意識の醸成にも取り組んでほしいと思います。

最後になりましたが、ハード面(設備)の改修にご尽力いただいた前寮務主事の太塚茂先生、森澤前寮務係長をはじめ、関係各位の皆様がこの場を借りて、心からお礼申し上げます。



● 平成22年度行事予定 (前期) ●

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1 木	↑	1 土		1 火		1 木		1 日		1 水	
2 金	春季休業	2 日		2 水		2 金	臨時休業	2 月		2 木	
3 土	開寮	3 月	憲法記念日	3 木		3 土	↑	3 火	補講	3 金	
4 日		4 火	みどりの日	4 金		4 日	↓	4 水	前期期末試験	4 土	
5 月	始業式ガイダンス	5 水	こどもの日	5 土		5 月	臨時休業	5 木	前期期末試験	5 日	
6 火	入学式ガイダンス	6 木		6 日		6 火		6 金	前期期末試験	6 月	
7 水	オリエンテーション(1年のみ)	7 金		7 月	前期中間試験	7 水	月曜授業	7 土		7 火	
8 木	↑	8 土		8 火	前期中間試験	8 木		8 日		8 水	
9 金	↓	9 日		9 水	前期中間試験	9 金		9 月	前期期末試験	9 木	
10 土		10 月		10 木	前期中間試験	10 土		10 火	前期期末試験(午前)/補講(午後)	10 金	
11 日		11 火		11 金	前期中間試験	11 日		11 水	補講	11 土	夏
12 月		12 水		12 土		12 月		12 木	↑	12 日	休
13 火		13 木		13 日		13 火		13 金		13 月	業
14 水		14 金		14 月		14 水		14 土		14 火	
15 木		15 土	対松江定期戦	15 火		15 木	金曜授業	15 日		15 水	
16 金		16 日		16 水		16 金	↑	16 月		16 木	
17 土		17 月		17 木		17 土	↓	17 火	保護者懇談会	17 金	
18 日	開校記念日	18 火		18 金		18 日		18 水		18 土	
19 月		19 水		19 土		19 月	海の日	19 木	第1回オープンキャンパス	19 日	
20 火		20 木		20 日		20 火		20 金	夏	20 月	敬老の日
21 水		21 金		21 月		21 水		21 土	季	21 火	
22 木	健康の日	22 土		22 火		22 木		22 日	休	22 水	
23 金	木曜授業	23 日		23 水		23 金		23 月	業	23 木	秋分の日
24 土		24 月		24 木		24 土		24 火		24 金	
25 日		25 火		25 金		25 日		25 水		25 土	
26 月		26 水		26 土		26 月		26 木		26 日	
27 火		27 木		27 日		27 火		27 金		27 月	
28 水		28 金		28 月		28 水		28 土		28 火	補講
29 木	昭和の日	29 土	↑	29 火		29 木		29 日		29 水	補講
30 金		30 日	↓	30 水		30 金		30 月		30 木	特別日課
		31 月	↑			31 土		31 火			

新年度にあたって

専攻科長 物質工学科 竹中 敦司

今年度も引き続き専攻科長を務めることになりました。どうぞよろしくお願い致します。私以外の専攻科担当として、副専攻科長に山口顕司先生（機械工学科）、専攻科長補に藤井雄三先生（物質工学科）、北農（きたの）幸生先生（建築学科）という教員スタッフと事務方では竹上さん、田辺さんの2名がおります。昨年度は「教育の実施状況」の受審という大きな課題をクリアしましたが、今年度は「J A B E E」受審の準備をすることになります。一方、毎年不合格者を僅かながら出している学位試験へも継続して対応する必要があると考えています

学生数については、生産システム工学専攻19名（うち女子学生0名）、物質工学専攻6名（3名）、建築学専攻8名（5名）、合計33名（8名）の入学生を迎え、2年生の25名（7名）を合わせると58名（15名）となっています。

さて、昨年度就職希望者については全員就職先が決まりましたが、複数回の受験でやっと内定を貰えたケースもあったようです。就職希望の学生は十分に準備するようにして欲しいと思います。進学については、昨年度の進学率は一昨年より少し増加し20%でしたが、進学者がもう少し増えることを希望します。また、2年生だけでなく入学間もない1年生の諸君もすぐにやってくる来年に備えて欲しいと思います。

最後に、本科の学生諸君で進学を希望する学生の皆さん、専攻科も進学先の一つであることをお忘れなく！



「平成22年度中国・四国地区専攻科生交流会を通して」

米子高専 生産システム工学専攻2年 吉田 賢史

この度、平成22年度中国・四国地区専攻科生交流会が、4月23日(金)、24日(土)の2日間に行われ、香川県の高松テルサにて開催されました。この交流会では、専攻科生自らが主体となって運営を行い、日頃の研究成果の発表や意見交換を行うことにより、今後の研究活動を更に発展させるとともに、他の高専の専攻科生との親睦を深めることが目的とされています。

本年度では、米子高専からは専攻科生21名、教員10名の計31名が参加することとなりました。発表は、機械、電気・電子、情報・制御、物質・化学及び土木・建築の5部門に別れ、ポスターセッションとプレゼンテーションが行われました。交流会では、参加された教員の方々だけでなく、学生自らが積極的に討論を交わす場面も多く、お互いに充実した発表となったと感じました。

私はこの交流会において、他の専攻科生とコミュニケーションをとりながら発表を行うことで、現在自分が行っている研究のプレゼンテーションにより伝わったものは何か、また不足しているものは何かを再認識することができました。このことから、発表を通して得た新たな情報や表現する力をもとに、これからの研究や学会発表のため、この経験を活かしていきたいと思います。

最後に、専攻科交流会に参加して頂いた米子高専職員各位、並びに発表準備にご協力頂いた教員各位に厚く御礼申し上げます。

専攻科生
研究交流会
の様子



編集後記

彦名通信は、在校生の保護者を主な対象とした広報誌です。学生の日常の様子、クラブ活動・各種行事の様子、本校の研究・地域貢献活動等について、お伝えしていきたいと考えております。紙面へのご意見・ご感想を、メール(hikona@yonago-k.ac.jp)にてぜひお寄せください。今年度の編集委員は竹内（G科）、田中（E科）、小川（C科）、酒井（G科）の4名で、年4回発行予定です。

※記事において、学科名をアルファベットで表している箇所があります。

M…機械工学科、E…電気情報工学科、D…電子制御工学科、C…物質工学科、A…建築学科、

G…一般科目、S…専攻科

例えば、「1M」は機械工学科1年生を表しています。

発行：米子高専広報委員会

〒683-8502 鳥取県米子市彦名町 4448 TEL: 0859-24-5023 FAX: 0859-24-5029 印刷：株式会社高下印刷
E-mail: hikona@yonago-k.ac.jp ホームページ：http://www.yonago-k.ac.jp/ ⇒メニューより「キャンパスライフ」